

第6回学部連携PBL チュートリアル学生用資料 2018.10.31 / 2018.11.14

目的：患者シナリオをもとに、グループ討議と自己学習を行いながら、プロブレムマッピング方式を用いて全人的な視点から問題点とその関連性を考え、さらに解決法を立案することで、チーム医療の実践に必要な能力・資質を身につける。

注意1. 10/31(水)は全員大塚講堂玄関ホールで受付後、9:00までに大ホールに着席する。

注意2. 出席登録システムは10月31日、11月14日とも使用しない。

注意3.【会場】 1-4班：スキルス・ラボ5・6、5-20班：蔵本会館2階多目的室1&4、

21-28班：蔵本会館2階多目的室2、29-32班：蔵本会館2階多目的室5、33-58班：大塚講堂2F小ホール

日程：両日とも名札と筆記用具を持参すること

1日目	時間	スケジュール	2日目	時間	スケジュール
	8:30	受付開始（出席確認）	1日目の各グループワーク会場に直接集合	9:00	グループワーク開始
	9:00	オリエンテーション		11:15	グループ発表
	9:30	各グループの場所へ移動		11:45	会場片づけ
	9:40	グループワーク開始		12:00	グループワーク終了
	11:45	会場片づけ		(注) 2日目の出席登録の方法については、所属学部学科からの指示に従ってください	
	12:00	グループワーク終了			

グループワークについて：

10月31日（1日目）

1. 自己紹介
2. 役割分担（司会、記録、時計、発表）
3. 問題点の抽出（ブレインストーミング）
* ポストイットを活用
4. プロブレムマップと問題リストの作成
* 模造紙を活用
 - ①原因・背景、患者や家族の心理、診断、治療、ケア、予後について考える
 - ②問題点の関連付け、整理、統合
 - ③学習課題の設定

11月14日（2日目）

1. 役割分担の確認（メンバー変更がある場合）
2. 学習成果の発表（学習成果の共有）
3. プロブレムマップ、問題リストの修正
4. 治療・ケアプランの作成、更に必要と思われる情報の抽出
5. 2～3つのグループ間で発表・意見交換

* 治療・ケアプランに正解はありません。現在、自分たちの持っている知識を総動員し、協働で考えてください。

提出物：

- ・グループごとのプロダクト（各グループでA4、1枚に記入）

提出場所：グループワークの会場に準備した提出ボックス、提出期限：グループワーク終了直後

1日目：「プロブレムマップ」と「学習課題」

2日目：「さらに必要と思われる情報」と「具体的な治療・ケアプラン」（いずれも箇条書き）

- ・個人の提出レポート

グループで話し合った内容をもとに、シナリオ患者（徳島太郎さん）の治療・ケアプランについて、各自 A4 用紙1枚（約1000文字）にまとめて各学務課あるいは学務係に提出（期限：11/21 16:00）

- ・アンケート

Web（教務事務システム）から11月14日中に回答してください。保健学科検査技術学専攻と薬学部の学生は紙媒体で11月14日のグループワーク終了時点で会場に提出する。

図1 プロブレムマップの一例（臨床シナリオ・学部連携PBL）

